

ベリタスと HLA の歴史 - 1/3

- 1979年8月 PEL-FREEZ 社日本独占販売代理権取得
Dr. Terasaki (当時 UCLA、現 One Lambda 社代表、Paul I. Terasaki Foundation) によりリンパ球細胞傷害試験 (LCT) 法が開発されました。日本でも HLA 検査が大学のラボで研究的に行われるようになり、LCT 法に必要な HLA 用ウサギ補体を米国 PEL-FREEZ 社から輸入し、各ラボへお届けするというお手伝いを始めたのがベリタスでの HLA の始まりです。
- 1981年3月 UCLA Terasaki Laboratory.
HLA タイピングトレー (Terasaki トレー) の日本独占販売代理権取得
- 1983年6月 医薬品輸入販売業等許可取得
Terasaki トレーが体外診断薬として、厚生省から承認を取得、同時に保健収載されました。日本国内の大学・研究機関・検査ラボ・日本赤十字社などに HLA タイピングトレーの販売を本格的に開始しました。
- 1983年9月 ロビンス社日本独占販売代理権取得
[HLA タイピングに必要な器具](#) (ディスペンサー・ジェットピペット) など、HLA 特有な器具の販売を開始しました。
- 1984年1月 UCLA Terasaki Laboratory が [One Lambda 社](#) として独立
One Lambda 社の日本独占販売代理会社として HLA 製品を販売
- 1986年10月 第1回 ベリタス HLA 技術講習会
『血液分離から HLA タイピングの判定まで』
- 1987年10月 第2回 ベリタス HLA 技術講習会
『血液分離から HLA タイピングの判定まで』
- 1988年10月 第3回 ベリタス HLA 技術講習会
『血液分離から HLA タイピングの判定まで』
- 1989年2月 日本ダイナル社設立
HLA 用細胞分離試薬 T リンパ球用、B リンパ球用 Dynabeads を販売開始しました。当時の HLA Class II タイピングは純度の高い B リンパ球を得ることは技術的に大変難しかったため、DR タイピングの正確性に疑問の声がありました。Dynabeads B リンパ球分離試薬は、純度や回収率の高い B リンパ球を得ることができる画期的な試薬として、一気に日本国内に広がりました。
- 1989年10月 第4回 ベリタス HLA 技術講習会
『血液分離から HLA タイピングの判定まで』
- 1990年10月 第5回 ベリタス HLA 技術講習会
『血液分離から HLA タイピングの判定まで』
- 1991年6月 第6回 ベリタス HLA 講演会
『第11回 国際組織適合性学会の血清学的アプローチ』

ベリタスと HLA の歴史 - 2/3

- 1992年10月 第7回 ベリタス HLA 講演会
『第11回 国際組織適合性学会のレビュー』
- 1993年10月 第8回 ベリタス HLA 講演会
『免疫応答システムにおける HLA の役割』
- 1994年 Dynal 社
HLA DNA タイピングキット Dynal SSP 発売
日本で初めての HLA DNA タイピングキットです。このキットにより、**HLA タイピングが血清学的タイピングから DNA タイピングへ移行するきっかけとなりました。**
- 1994年9月 第9回 ベリタス HLA 講演会
『免疫応答における HLA の意味』
- 1994年9月 『KAMON』創刊（～2003年、29号まで発行）
- 1995年 [INNOGENETICS 社](#)
HLA DNA タイピングキット [INNO-LiPA](#) 発売
- 1995年5月 第10回ベリタス HLA 講演会
『10年の進歩を振り返り未来の HLA を占う』
- 1996年 One Lambda 社
HLA DNA タイピングキット [マイクロ SSP](#) 発売
- 1997年 One Lambda 社
HLA 抗体検出試薬キット [FlowPRA](#) 発売
- 1999年1月 HLA DNA タイピング実技講習会
- 2000年 One Lambda 社
LABScan100 (Luminex) 測定 HLA DNA タイピングキット
[LABType SSO](#) 発売
- One Lambda 社
LABScan100 (Luminex) 測定 HLA 抗体検出試薬キット
[LABScreen](#) 発売
- 2001年6月 Forensic Analytical 社
HLA AllelSEQR HLA-Sequence based SBT 用試薬を販売
- 2003年 [Conexio Genomics 社](#)
[HLA-SBT 用解析ソフトウェア](#)を販売
- 2003年 KAMON 講演会
- 2006年5月 第1回 ベリタス HLA 抗体ワークショップ開催
- 2006年5月 『HLA と抗体』創刊（～2010年、9号まで発行）
- 2006年9月 第2回 ベリタス HLA 抗体ワークショップ開催

ベリタスと HLA の歴史 - 3/3

- 2007年9月 第3回 ベリタス HLA 抗体ワークショップ開催
- 2008年9月 第4回 ベリタス HLA 抗体ワークショップ開催
- 2009年9月 第5回 ベリタス HLA 抗体ワークショップ開催
- 2010年6月 第1回 HLA 講習会
HLA Fusion 解析・FlowPRA 設定法・マイクロ SSP ウエットトレーニング
- 2010年9月 第6回 ベリタス HLA 抗体ワークショップ開催
- 2010年12月 第2回 HLA 講習会
LABScreen・LABType・マイクロ SSP ウエットトレーニング
- 2011年6月 第3回 HLA 講習会
LABScreen・LABType・マイクロ SSP ウエットトレーニング
- 2011年7月 『ベリタスサイエンスレター ～HLA & Transplantation～』 創刊
- 2011年12月 [第4回 HLA 講習会 \(第2回ベリタスサイエンスセミナー\)](#)
『Emory University USA Dr. Robert A. Bray - アメリカにおける HLA 抗体検査の実際と臨床への報告』

ベリタスは One Lambda 社とともに HLA 分野において、最新の技術と情報を日本の HLA 研究者・病院検査現場の先生方にお届けして参りました。今後も世界中から最新で、最適な HLA の情報や製品をお届けする努力を致します。